

第13回山梨医療安全研究会大会

2018年6月9日(土)、第13回山梨医療安全研究会大会が開催され108名の方が参加されました。10時より総会を開催し、報告及び審議事項は全て承認されました。また、医療安全教育セミナー参加費について執行部より会員メリット等を思慮した変更の提案があり、審議の結果、今年度より2000円/回に変更となりました。

10時30分より医療安全への取り組み実践活動報告が7演題あり、医療機関や介護施設など多職種からの報告を聞くことが出来ました。参加者より施設での取り組みを通して、職場への活用や振り返りの機会となったとの声がかれました。13時より「いま改めて「患者確認」を考える」をテーマにパネルディスカッションを開催いたしました。病院の専任医療安全管理者、介護施設の看護職、院外薬局の管理薬剤師、県の医務課医療安全担当者、教育機関の医師をパネリストにお招きして、それぞれの立場から「患者確認」について発表していただきました。病院や施設内における安全と患者確認、院外薬局における薬剤業務と安全、医療法第25条の規定に基づく立入検査の中での医療安全に関する報告や医学部における教育など、多領域での現状や取り組み、普段は聞き取ることのない分野でのお話などを聞く機会となりました。「医療は確認で成り立っている」と確認の大切さを改めて認識しました。

(山梨赤十字病院 渡辺久子)

【医療安全への取り組み実践活動報告表彰者】

- 最優秀賞**：自分だったら、その対応で納得できますか？
～ご利用者様の安全・快適な生活の実現のために
介護老人福祉施設コスモ 保坂邦男様
- 優秀賞**：当院におけるインシデントの原因分析への取り組み
～SHELL分析を導入して～
貫川整形外科病院 小林裕司様

第3回医療安全教育セミナー開催

2017年12月2日(土)、平成29年度第3回医療安全教育セミナーが開催され、77名の方が参加されました。研修テーマは「これからの医療安全に必要なノンテクニカルスキル」、講師はメディカルアートディレクターの佐藤和弘先生でした。看護師を初め、介護職、管理栄養士など多職種の方に参加いただきました。医療安全対策として、チームで働く医療現場において、コミュニケーションの大切さは十分理解していたつもりでしたが、佐藤先生の講義は「目からうろこ」の内容ばかりで、参加された方々も「発想の転換に気づかされた」「自分でも少し何かできそう」「新しい考え方を聞くことができた」と話され、今までの医療安全対策に感じていた難しさを「自分でもできる」方法として学ぶことができました。また、グループワークでは、いろいろな職場・職種の方たちで話し合うことができ、「様々な視点から考えることができた」「明日から実践できる具体的な取り組みを考えることができた」といった意見が聞かれ、とても学び多いセミナーになりました。

今年度も、佐藤先生のセミナーを開催します。昨年参加できなかった方はもちろん、もう一度聞きたいという方、前に聞いた気がするという方もぜひご参加ください。

(国立病院機構甲府病院 田之上久美子)

e-ラーニング教材のお知らせ

医療安全に関する職員研修をどのように工夫をして行っていますか？年に2回以上の研修開催に苦慮されている施設は多いと思います。そこで、山梨OQTで作成した「医療安全教材CDR」を紹介します。病院で働く全職員が知っておくべき項目、「患者確認」「チームコミュニケーション」「事故分析」「暴言暴力対応」「個人情報保護」など(詳しくはホームページをご覧ください)が網羅されています。これらの内容を1年間かけて取り組むのでそれぞれのペースで空き時間に学習でき、ネット環境や難しい手続きも不要なため、CDR1枚購入(¥2500)すれば明日から始める事が出来ます。

教材づくりではとにかく現場目線を大切に、みんなの失敗体験やあるあるネタを元にした事例や、先輩看護師がうまくいくコツなども取り入れられました。明るく楽しく学べる医療安全教育教材として病院や施設での活用が広がることを願っています。

過去に購入された方もバージョンアップした2018年版をご検討ください。山梨OQT e-ラーニング教材作成プロジェクトメンバー



☆詳細(参考画面や新規情報など)
山梨OQT医療安全eラーニングFacebook
https://www.facebook.com/yamanashioqt/

北杜市立甲陽病院
看護師 藤森玲子

2018年度医療安全教育セミナー予定

2018年度 一般社団法人
山梨医療安全研究会主催

医療安全教育セミナー

- 第1回 9月8日(土) 13:00~16:00
山梨県立大学池田キャンパス 講堂
「**薬剤の安全管理-カリウム製剤の事故を受けて、(仮題)**」
薬剤師が処方した薬剤が、患者さんに重大な副作用を引き起こすというニュースが報じられる。これはなぜ起きたのか、その原因は何か、今後どうすればいいか、という疑問が湧いてくる。本セミナーでは、薬剤師の視点から、薬剤の安全管理について、具体的な事例を交えてお話します。お申し込みは本会のホームページ「山梨医療安全研究会」からお申し込みください。お申し込みは本会のホームページ「山梨医療安全研究会」からお申し込みください。
講師:土屋文人氏(南日本病院薬務部副部長、国際医療福祉大学特任教授)
 - 第2回 12月8日(土) 13:30~16:30
山梨県立大学池田キャンパス101講義室
「**医療安全に必要なノンテクニカルスキル(仮題)**」
患者や家族とコミュニケーションを取りながら、安全なケアを提供するために必要なスキルを身につける。本セミナーでは、具体的な事例を交えてお話します。お申し込みは本会のホームページ「山梨医療安全研究会」からお申し込みください。
講師:佐藤和弘氏(メディカルアートディレクター)
 - 第3回 3月2日(土) 13:00~16:30
山梨県立中央病院 多目的ホール
「**事例分析手法を学ぶ-時系列事例関連図を用いて-**」
医療現場で発生した事例を、時系列事例関連図を用いて分析する。本セミナーでは、具体的な事例を交えてお話します。お申し込みは本会のホームページ「山梨医療安全研究会」からお申し込みください。
講師:小林美雪(健康科学大学看護学部)
- セミナー参加費:13,000円(税込)です
申込用紙は右面です

著名な方々に講師を依頼
しました。
職種問わず、たくさんの方にお声かけ下さい。

**お申し込みはFAXでお願ひ
します!合わせて、HPでの確認
をお願いします。**



書評コーナー

「断罪された医療事故隠し」著者:永井裕之

健康科学大学看護学部3年 岩間詩歩さん



この本の著者である永井裕之さんは、奥様の悦子さんを医療過誤で亡くされ、その後の病院との対応の経験から、現在は「医療の良心を守る市民の会」を設立し、医療安全のために全国的な活動をされています。

私はこの本を読み、医療者は医療事故を起こしたことについて、患者や家族(遺族)に対して、丁寧な説明と誠心誠意の謝罪が大変重要であることを知りました。患者や家族(遺族)は、医療の知識が無い方が圧倒的に多いと思います。そのため、医療者からの説明がないと不明な点だらけで、事故の大小に関わらず、病院や医療者に対し、不信感が残ってしまいます。

私は、この本を読むことで、看護学生である今だからこそ、医療事故について知ったうえで看護の学びを深めることの大切さを知ることができました。看護学生に、是非薦めたい一冊です。

介護施設の医療安全管理担当者の紹介 No.1

「山梨医療安全研究会への参加で更なるスキルアップ」

介護老人福祉施設 コスモ
副施設長 保坂邦男

今年より、山梨医療安全研究会の役員として仲間入りさせていただき、介護老人福祉施設コスモの保坂邦男と申します。この研究会の運営に微力ではありますが貢献出来ること、また自身の学びをさらに深める機会にさせて頂きたいと考えております。

また先日の総会において、初めて事例発表会に参加させて頂きました。生活の場である施設におけるリスクマネジメントへの取り組みとして発表させて頂きましたが、改めて皆様の発表を聞き、自身の勉強不足を痛感する機会ともなりました。

日本は、2025年問題を皮切りに、いずれ国民の約3人に1人が65歳以上との超高齢社会に向かいます。今後さらに医療、福祉の分野においては大きな変革期を迎えるかと思えます。

介護老人福祉施設コスモは、開所して15年を迎えました。私共施設サービスを始め、通所や訪問等の居宅サービス等の更なる質の向上が求められます。今後コスモにおいて、ご利用者様に安心、快適に過ごして頂くために、施設の責任者として、この研究会で学びを深め、施設のレベルアップが図れるよう努力してまいりたいと考えております。今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。